

3 博物館実習

大学及び短期大学における博物館学講座の単位修得の一環として、博物館学を履修する学生を一時的に受け入れ、博物館現場における知識及び技能を修得させることにより、人材の育成を図ることを目的として実施している。

開設日時とカリキュラム、および受入先は次のとおり。

開設日時と内容：

8月20日(月)	9:30～10:00	開講あいさつ
	10:00～10:45	オリエンテーション
	11:00～12:00	美術館と学芸活動
	13:00～14:00	海外美術館大型巡回展と近年の動向
	14:00～16:00	ミニ企画展実習（1 概論）
8月21日(火)	9:30～12:00	作品取扱い実習・調書作成（平面）
	13:00～16:00	作品取扱い実習・調書作成（立体）
8月22日(水)	9:30～10:30	「鬚光展」会場見学
	10:30～12:00	展覧会を取材する（館内取材・資料調査）
	13:00～16:00	ミニ企画展実習（2 企画—討議）
8月23日(木)	9:30～12:00	展覧会を紹介する（短評作成）
	13:00～16:00	ミニ企画展実習（3 企画—立案）
8月24日(金)	9:30～12:00	ミニ企画展実習（4 企画—集約）
	13:00～16:00	ミニ企画展実習（5 企画—制作）
8月25日(土)	9:30～11:00	ミニ企画展実習（6 発表準備）
	11:00～12:00	「平山郁夫展」広報作業
	13:00～15:00	ミニ企画展実習（7 発表）
	15:15～16:00	まとめとディスカッション

受入先：京都外国語大学・京都造形芸術大学・西南学院大学・多摩美術大学・広島大学
 広島女学院大学・広島市立大学

6 大学・計17人

ミニ企画展実習

メインカリキュラムの「ミニ企画展実習」では、2008年度当館の開館40周年を記念する特別展を所蔵作品によって企画する、という課題にとりくんだ。人文系、芸術系それぞれの学生がバランスよくセンスを発揮し、討議・製作を進めたグループは内容の濃い成果をあげた。出品作品は1点のみで、提案された展覧会名、出品作品は次のとおり。

写真は②グループが製作した広報イメージのひとつで、すきむらやにじみのある和紙の風合いをベースに考案したデザイン。

(博物館実習統括担当者：知念理)

①	次世代へ～命を考える平山郁夫展～
	平山郁夫〈受胎霊夢〉
②	竹林の向こう～丸木位里の新世界～
	丸木位里〈竹林〉
③	色絵馬、異国へ行け～江戸時代のプロジェクトX～
	〈伊万里 柿右衛門様式 色絵馬〉
④	ーアレクサンダー・カルダー展ー 浮かぶ・遊ぶ・モバイル
	アレクサンダー・カルダー〈Vertical White Frame〉

